

2023年7月5日

化学療法開始後の膵がん患者に発症するがん関連血栓症(CAT)に関する後ろ向き研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、当院で化学療法（抗がん剤治療）を受けられた膵がん患者さんについて、がん関連血栓症の発症率や発症時期、発症に関連するリスク因子等を調べています。本研究では、がん関連血栓症の予防治療を行うべき対象を明らかにすることを目的とし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2017年4月から、2022年9月までの間に、膵がんに対して当院で化学療法を受けられた18歳以上の方。ただし、膵がん術後の補助療法としてのみ化学療法を受けられた方や、化学療法を開始する前にすでにがん関連血栓症と診断された方は研究対象から除いています。

◆研究に使用される情報◆

研究対象者背景：性別、生年月日、化学療法開始時の年齢、身長、体重、喫煙歴、既往歴、内服薬、化学療法の目的、全身状態、組織型、切除可能性、病期（TNM分類）、原発部位
化学療法開始時の血液検査：Hb、WBC、好中球数、リンパ球数、血小板数、TP、Alb、T-Bil、AST、ALT、BUN、Cr、D-dimer、CEA、CA19-9、SPAN-1、DUPAN-2
化学療法に関する詳細：治療レジメン、初回治療日、治療期間
画像検査：対象期間中に実施されたCT、MRI、エコー、心電図
転帰に関する詳細：がん関連血栓症（脳梗塞/深部静脈血栓症/肺塞栓/門脈血栓/その他）の発症の有無と時期、出血性イベントの発症の有無と時期、観察期間中の死亡の有無、死因、最終診察日（死亡された方は死亡日）

◆情報の研究利用開始日◆

2023年10月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、

以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 羽田 綾子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明